

新ハイキングクラブ 横浜支部

第1回（2025年）通常総会議案書

〔日 時〕 2025年5月14日(水) 18:10～19:00

〔会 場〕 神奈川県民センター 3階 301号室

〔議事次第〕

1. 開会、議長選任
2. 議長挨拶
3. 議事録署名人選任
4. ≪審議事項≫の議案提案と質疑、採決
 - 第1号議案 2024年度事業報告承認の件……………02頁
 - 第2号議案 2024年度決算承認の件……………04頁
 - 第3号議案 2025年度役員選任の件……………06頁
5. ≪報告事項≫の報告と質疑
 - I 2025年度事業計画……………07頁
 - II 2025年度予算……………08頁
 - III 2025年度運営委員……………09頁
6. 閉会挨拶

「新ハイキングクラブ横浜支部 会則」は、総会議決事項について以下のように定められています。

(会議・議決)

第9条 本支部の会議は総会、運営委員会、月例会とする。

- 1 総会は、毎年5月に行い、事業報告、決算、会則改廃、役員選任、その他重要事項を決定する。
- 2 (以下省略)

《審議事項》

第1号議案 2024年度事業報告承認の件

1. 支部山行の実施状況

(1) 支部山行実績

2024年度の支部山行実績は下表のとおりでした。

支部山行企画回数は89回(月平均7.4回)、実施回数は74回(月平均6.2回)、実施率は83.1%となっています。また、支部山行参加者数は年度累計で919人となっており、前年度と比べ232人増と大きく増加しました。1回あたりの平均参加者数は12.4人で、前年度と比べ2人増となっています。1回あたりの参加者数が20人を超える山行が大幅に増加しました。

支部恒例の忘年山行は、12月14日～15日に塩山周辺の3コースで実施され、52名の方々に参加いただき、その内41名の方々に宿泊いただくなど、過去最大規模で盛大に実施出来ました。

なお、支部山行ではありませんが、2月から7月まで毎月実施された塔ノ岳への夏山訓練山行や、会員公開された個人山行を14件ご案内いただきました。

他方、増加し続ける会員の皆様の期待に応えうる山行企画の更なる充実が求められています。

	2024年度実績	2023年度実績	前年比較
支部山行企画回数	89回	82回	7回増
支部山行実施回数	74回	66回	8回増
支部山行実施率	83.1%	80.5%	2.6%増
支部山行参加者数	919人	687人	232人増
1回あたりの平均参加者数	12.4人	10.4人	2人増

(2) 山行リーダー(山行係)の状況

2024年度の山行リーダー(山行係)は以下の15名の方々が担いました。

個人別(敬称略)の実行状況は、久保/10回、小澤/9回、谷/8回、小嶋/8回、芹沢/7回、足立/6回、若生/5回、桜井/4回、高橋(昇)/4回、高橋(健)/4回、井上(忠)/3回、佐藤(哲)/3回、菅野/1回、齋藤(郁)/1回、渡部(智)/1回となっています(忘年山行とおでん・焼鳥山行のコースリーダーを含めます)。

2024年度は渡部(智)さんが新たな山行リーダーに加わっていただきました。

山行リーダー個人の負担を軽減しつつ、多種多様な山行企画を遂行するためには山行リーダーの担い手を増やしていくこと(女性リーダーの増加を含む)が喫緊の課題となっています。

2. 支部会員の状況と支部の機関運営

(1) 支部会員の状況

2024年度末の支部会員数は116名でした。2024年度の入会者は41名、年度末までに退会連絡があった方は17名、差引24名の増加となりました。

2024年度の新入会者は、新入会キャンペーンを実施した2023年度の60名には及びませんでした。友人・知人への呼びかけやホームページをご覧いただいて月例会に参加され、体験山行を経て入会された方が毎月コンスタントに続きました。

新入会者の皆さんは、登山経験が豊富な方からハイキング初心者までと多種多様で、支部山行にも積極的にご参加いただいております。

支部会員の平均年齢は比較的若い方の入会もあり若干の若返りが進み、また、女性の入会者が多い傾向にありますので会員の女性比率が高まりつつあります。

(2) 支部の機関運営の状況

支部会員の増加に伴い月例会の出席人数も増加を続け、会場が手狭になっていましたので、2024 年度下期から例会会場を 60 人席の会場から 90 人席の会場に変更して対応してきました。

月例会への出席率は、2023 年度の平均出席率が 47%だったのに対し、2024 年度の平均出席率は 43%と低下傾向にあり、出席者が固定化されつつあります。

月例会では山行計画の報告と参加者募集の他、支部運営に係る重要事項を支部ニュースの「お知らせ」欄で周知徹底がなされました。

また、支部長を補佐して支部運営の日常執行を司る運営委員会は、定例の年間 4 回(うち 2 回は拡大委員会)のほか、臨時運営委員会も随時開催するなどして臨機応変の課題検討を重ね、運営委員会を軸にした支部運営の実現を目指してきました。

3. 支部運営にかかる特記事項

(1) 会則・諸規程の改訂

「会則等見直し委員会」が 4 月に発足し、全 5 回約 13 時間をかけて旧会則・覚書を、本部や他クラブの規程類を参考に見直し検討を行いました。検討にあたっては、山行未経験者も多く入会している現状下、経験の差が顕著であることを踏まえ、急増した会員の安全意識の徹底を図る事などに重きを置きました。

検討結果を踏まえ、会則と支部運営関連規程集(4 項目)、山行計画関連規程集(5 項目)、山行活動関連規程集(4 項目)の全文を第 2 回運営委員会(8/27)に諮り、更に 9 月例会で概要報告して議決承認されました。

改訂の最大眼目は、「会員の安全な山行活動のルール」の整備と、長期的に支部活動を継続するための業務運営への理解と参画を期待するための概要をまとめたことにあります。

(2) 2025 年度の会費改定

2024 年度会費は 3,300 円で、郵送費は会費で負担していましたが(郵送不要者には優遇策として 300 円を減額しています)、2025 年度の会費はこれを 3,000 円に減額し、例会欠席者の支部ニュース郵送希望者は 3,900 円とするよう改訂しました。10 月から封書が 110 円に値上がりしたことによります。例会欠席時の支部ニュース郵送希望者は現在 30 名位おり、毎月 20 名位に郵送しています。郵送代だけでも年 1,320 円/1 人かかりますので、郵送希望者には基本郵送費実費負担とし、年間郵送費の約 2/3、900 円を負担して貰う事にしました。

(3) 例会参加時の支部ニュース印刷持参のお願い

会員が増加し、印刷・発送係りの労力負担が増大しており、支部ニュース 10 月号で支部ニュース印刷持参のお願いをしました。それを受け、毎月 20 名程度の方々に印刷持参のご協力をいただいております。

4. 新ハイ本部関係事項

代議員会が 4/25、7/18(欠席)、10/24、1/22(欠席)に開催されました。4/25 の会議では横浜支部の支部長として新任挨拶をしました。

支部長会は 5/15、10/24、1/14 に開催されました。5/15 の会議では横浜支部の会員増加状況を説明し、会員募集の活動内容を話しました。

《審議事項》 第2号議案 2024年度決算報告承認の件

令和6年度収支決算報告書(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

一般会計 収入の部

単位:円

コード	項目	前期実績	受入額	差	備考
01	今期会費前期納付分繰入	138,000	279,300	141,300	前期納付の当期会費
02	今期新規入会者会費他	119,100	94,300	▲24,800	新入会員の納付会費
03	繰入金	593,518	540,841	▲52,677	R5年度特別会計残高を一般会計へ繰入
04	預り金	279,300	336,300	57,000	R7年度会費の納付
05	雑収入	1,406	98	▲1,308	貯金利息
入金合計		1,131,324	1,250,839	119,515	

預り金を除く収入 852,024 914,539 62,515

一般会計 支出の部

単位:円

コード	項目	前期実績A	支払い額B	差(B-A)	備考
10	謝金	18,000	18,000	0	支部長/会報係/HP編集係・本部会費
11	旅費交通運搬費	26,608	37,514	10,906	本部会議、運営会議交通費
12	用紙代	5,584	4,939	▲645	支部ニュース用紙代
13	コピー・印刷費	65,758	154,139	88,381	支部ニュース印刷トナー代等
14	郵送料	20,962	43,404	22,442	支部ニュース発送料等
15	施設等使用料	40,610	42,720	2,110	月例会、運営委員会会議室使用料
16	ホームページ運営管理費	13,200	13,200	0	サーバー使用料
17	消耗品費	3,374	2,140	▲1,234	封筒代等
18	保険料	4,200	4,600	400	本部集中/合同山行の参加者保険料
19	山行補助費	24,900	27,200	2,300	山行リーダー実施への補助
20	雑費	37,084	24,399	▲12,685	ゆうちょ銀行手数料、忘年会新人歓迎費
21	永年会費表彰費	0	2,000	2,000	対象者1名
22	周年記念事業費	0	94,600	94,600	羊歯35号増刷費
23	本部団体会費	0	0	0	制度廃止
24	予備費	50,903	0	▲50,903	前期拡大活動終了
支出合計		311,183	468,855	157,672	
収支差額/剰余金		820,141	781,984	▲38,157	

繰越	余剰金	540,841	445,684	▲95,157	
	預り金	279,300	336,300	57,000	
合計		820,141	781,984	▲38,157	

財産変動

単位:円

項目	R5年度末	R6年度末	差
期末現金	2,000	900	▲1,100
普通貯金残高	818,141	781,084	▲37,057
定期預金残高	0	0	0
合計	820,141	781,984	▲38,157

〔補足説明〕

1. 今期から特別会計を廃止し、前期残高を一般会計の繰入金に計上した。
2. 会員数の大幅増加により、会費収入が増加した。
3. 会員数増加の影響で支部ニュースのコピー・印刷費、および郵送料が大幅増加となった。

4. 周年記念事業費の増加は新入会員へ配布した会報「羊歯」の増刷費による。
5. 預り金を除いた今期の実質的は、収入 914,539 円に対し支出が 468,853 円で余剰金が 445,684 となったが、前期余剰金 540,841 円に対し 95,157 円の減少となった。
6. 財産全体としては、収入が 119,515 円の増収となったものの支出増が 157,672 円と収入より上回ったことにより、38,157 円の減少となった。

以上の通り令和 6 年度の会計収支決算報告します。

会計係 若 生 典 男 印

令和 6 年度の会計報告について監査したところ報告書に相違ないことを認めます。

会計監事 佐 藤 哲 夫 印

会計監事による監査報告書の捺印部分は別紙(R6 年度監査報告書)をご覧ください。

以上の通り令和6年度の会計収支決算報告します。

会計係 若生典男



令和6年度の会計報告について監査したところ報告書に相違ないことを認めます。

会計監事 佐藤哲夫



《審議事項》

第 3 号議案 2025 年度役員選任の件

「新ハイキングクラブ横浜支部 会則」は、以下のように定められています。

(役員)

第 6 条 本支部に次の役員を置く。

- 1 支部長 1 名、副支部長 3 名以内、会計監事 1 名を置く。
- 2 役員の任期は 1 年とし、再選を妨げない。

(役員及び運営委員の選任)

第 8 条 役員及び運営委員の選任は、次の通りとする。

- 1 支部長は、会員から互選で選ばれる。選任の手続きは別に定める。
- 2 副支部長と会計監事は、支部長が提案する。
- 3 運営委員は、支部長が指名する。

つきましては、以下にて役員の選任をお願いいたします。

役員候補者	人数	氏名	備考
支部長	1 名	足立 忠彦	1999 年 2 月入会。2024 年度支部長。横須賀市在住。81 歳。本年 2 月 3 日に選挙管理委員長に「支部長立候補届出」を提出、立候補募集期間内に他に立候補者がおらず、「支部長選任規程」に基づき 2 月 12 日の月例会にて支部長候補者となる。
副支部長	2 名	井上 忠秋	1990 年 11 月入会。2024 年度副支部長。横浜市在住。79 歳。会則第 8 条の 2「副支部長と会計監事は、支部長が提案する。」に基づき、上記支部長候補者の足立忠彦から提案された。
		桜井 素子	2013 年 4 月入会。2024 年度副支部長。横浜市在住。81 歳。会則第 8 条の 2「副支部長と会計監事は、支部長が提案する。」に基づき、上記支部長候補者の足立忠彦から提案された。
会計監事	1 名	佐藤 哲夫	2009 年 2 月入会。2024 年度運営委員(会計監査)。83 歳。会則第 8 条の 2「副支部長と会計監事は、支部長が提案する。」に基づき、上記支部長候補者の足立忠彦から提案された。

《報告事項》

I 2025 年度事業計画

1. 支部山行関連事項

(1) 2025 年度支部山行計画

支部山行の企画回数は 4 月から来年 1 月まで 68 回計画されています。2 月、3 月の予定を加えると年間約 86 回程度となり、ほぼ 2024 年度なみの計画となっています。その他に、個人山行としてウォーキング企画や夏山登山に向けた訓練山行などが企画されており、新ハイ本部企画の「さあハイキング」も紹介してゆきます。

なお、今年も 12 月 13～14 日に忘年山行を企画しています。希望の場所があればご提案ください。

(2) 山行リーダー(山行係)

新しいリーダーが 5 名加わりました。中居さん、大西さん、小泉さん、梶本さん、小黑さんです。宜しくお願いします。今後も山行リーダーの担い手を募集していきます。

今後の問題点のひとつに山行参加者が 20 人越える山行が増えていることがあります。山行リーダーの負担を軽減する対策が必要かと思えます。

2. 支部運営関連事項

(1) 支部運営体制

本総会後に支部運営委員会の新体制が発足します。会場係の黒陽子様、書記係の西川重昭様、月例会受付係の菅野紀子様・高橋健二様、入会対応係の池田邦雄様、会計係の若生典男様(役割変更で留任)が退任されます。皆様には支部運営にあたって多大なるご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。そして、新任の運営委員との引継ぎをよろしくお願いいたします。

(2) 会員募集の改善

2025 年度もコンスタントに新規入会者が増加することが予想されます。ホームページの「入会のご案内」を改訂するとともに、2025 年度版の会員募集チラシを掲載するなどの補強や、新規入会者にも横浜支部の会則や山行に関する留意点がきちんと伝わるよう改善いたします。

(2) 支部ニュース印刷費用対策の推進

支部ニュース印刷費用の負担が増加しています。この問題について今後対策協議をしてゆきます。

(3) 支部創立 70 周年事業の準備

来年 2026 年は横浜支部設立 70 周年です。記念事業として集中山行の実施や羊歯第 36 号の発行等の行事を準備します。担当される方々をお願いしますのでふるってご参加ください。

3. 新ハイ本部関係事項

(1) 支部長会

5 月、10 月、1 月に開催が予定されております。

(2) 代議員会

4 月、7 月、10 月、1 月に開催が予定されております。

(3) 本部集中山行と本部支部合同山行

例年通り実施しますので、皆様のご協力をお願いします。

《報告事項》

Ⅱ 2025 年度予算

一般会計 収入の部

単位:円

コード	項目	R7年度予算	R6年度実績	R6⇒R7 増減	R7 年度予算備考
	会費収入合計	414,150	373,600	40,550	
01	前期納付分会費	336,300	279,300	57,000	前期 112 名の納付額
02	新規入会者分会費	77,850	94,300	▲16,450	遅延納付分+新入会者 30 人想定
03	繰入金	445,684	540,841	▲95,157	前期余剰金
05	雑収入	4,732	98	4,634	利子・プリペイドカード払戻金
	収入の部合計	864,566	914,539	▲49,973	
04	預り金	412,200	336,300	75,900	
	次期会費納付金	412,200	336,300	75,900	R7年度末会員 132 名想定
	本部交付金	0	0	0	制度廃止

一般会計 支出の部

単位:円

コード	項目	R7 年度予算	R6 年度実績	R6⇒R7 増減	R7 年度予算備考
10	謝金	18,000	18,000	0	例年通り・支部長の本部会費
11	旅費交通運搬費	37,514	37,514	0	支部長会、支部委員会交通費
12	用紙代	5,520	4,939	581	支部ニュース用紙他
13	コピー・印刷費	138,700	154,139	▲15,439	レーザープリンター用トナー他
14	郵送料	36,050	43,404	▲7,354	支部ニュース送送料他
15	施設等使用料	50,940	42,720	8,220	例会・運営委員会会場費
16	ホームページ運営管理費	13,200	13,200	0	サーバー使用料更新
17	消耗品費	4,448	2,140	2,308	事務用品(封筒代)
18	保険料	8,000	4,600	3,400	本部/合同参加者保険料
19	山行補助費	32,000	27,200	4,800	山行リーダー補助・下見補助
20	雑費	30,540	24,399	6,141	ゆうちょ銀行手数料・新人歓迎費
21	永年会費表彰費	0	2,000	▲2,000	対象者なし
22	周年記念事業費	0	94,600	▲94,600	
23	本部団体会費	0	0	0	制度廃止
24	予備費	0	0	0	
	支出の部合計	374,912	468,855	▲93,943	
	差引収支(当期剰余金)	489,654	445,684	43,970	
	繰越金合計(余剰金+預り金)	901,854	781,984	119,870	

〔補足説明〕

1. 会費収入は会員数増加による大幅増加を予想、ただ新会員はR6 年度 41 名の増加に対し30名に鈍化すると想定した。
2. 収入全体としては会費収入増加よりも余剰金(繰越金)の減少が上回る為、減額すると想定。
3. 預り金は今期末に納付するR8年度会費だが、期末 132 名の会員数想定で計上した。
4. 定型的支出は例年通りの内容を状況に合せ微調整した。また、前期の特異経費が無くなり、支出全体は大幅減少を見込む。
5. 差引収支は収入減以上に支出が減少した為、余剰金は増額を見込む。繰越金合計も預り金増額と合わせて増額を見込む。

《報告事項》

Ⅲ 2025 年度運営委員

「新ハイキングクラブ横浜支部 会則」は、以下のように定められています。

(役員及び運営委員の選任)

第 8 条 役員及び運営委員の選任は、次の通りとする。

- 1 支部長は、会員から互選で選ばれる。選任の手続きは別に定める。
- 2 副支部長と会計監事は、支部長が提案する。
- 3 運営委員は、支部長が指名する。

以上に基づき、支部長候補者から指名された 2025 年度の運営委員を以下にて報告します。

担当係	氏名	備考
会場係	松岡 富枝	新任
会報係	小嶋 幹雄	再任
印刷・発送係	高橋 昇	再任
山行委員	久保 正文	再任
会計係	中村 淳	新任
保険・名簿係	小澤 勝太郎	再任
書記係	若生 典男	新任(担当係変更)
本部連絡係	梶本 弘子	再任
Web サイト係	久保 正文	再任・山行委員兼務
月例会受付係	三浦 久美子	新任
	中島 百合子	新任
入会対応係	中居 俊雄	新任

※第 3 号議案で採決される支部長、副支部長、会計監事と上記委員によって 2025 年度運営委員会が構成されます。